

お試し版

# 田んぼ 生き物月報 2月

 2011年3月3日(木)  
 第0号 お試し版

2月後半、今年もまたヤマアカガエルが卵を産みました。ヤマアカガエルは、まだ冬の寒さが残る田んぼやため池に産卵し、いち早く春の訪れを知らせてくれる生き物です。また、暖かくなるにつれ、モズやムクドリ、セキレイなど鳥たちが活発に活動し初め、はるか上空にはノスリの姿も確認されました。畦にはオオイヌノフグリ、タネツケバナなどが咲き始め、春はもうすぐそこまでやってきています。3月になればヒキガエルの産卵が始まります。

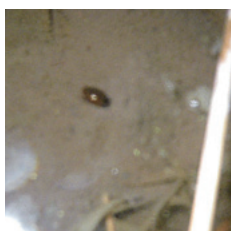


## ヤマアカガエルの卵

近い種にニホンアカガエルがいるが、広町ではヤマアカガエルが確認されている。産卵時期がはやく、水を張った田んぼや湿地に1000を超える卵をうみつける。

## ハクセキレイ

似た種類に日本固有種のセグロセキレイがいる。ハクセキレイはかつては本州ではほとんどみられなかったようだが、今ではどこでも見られる程分布を広げている。

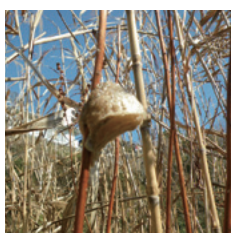


## マメゲンゴロウ

陸にあげると黒く見えるが、水の中にいる時は背中(前翅)が茶色に見える。大きさは7mm程度で比較的良好に見られるゲンゴロウのひとつ。

## タネツケバナ

アブラナ科で春の七草のナズナに似ている。農閑期の田んぼでよく見られる水田雑草で、ロゼッタ(地表に葉を平らに並べる)で越冬し、春に花を咲かせる。

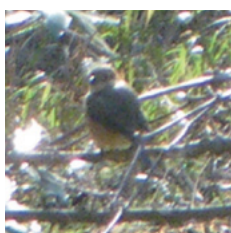


## オオカマキリの卵

広町で見られるカマキリにはオオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリがいる。この丸みを帯びたクリーム色の卵はオオカマキリのもの。

## タビラコ

田平子。春の七草「ホトケノザ」は本種。写真手前に見えているロゼッタ上の葉が特徴的。4月くらいからよく見られる花なのでちょっとはやい。



## モズ

「はやにえ」で知られる鳥。お腹がオレンジ色っぽい色をしている。。鳴き声はギチギチギチ、またはキチキチキチ、もしくはジジジジといった感じ。

## オオイヌノフグリ

大犬の陰囊。早春を代表する青く小さな花。可憐な姿と名前にギャップがあるが、これは近種のイヌノフグリの実に対してつけられた名称。花の寿命は一日だけ。



memo